

令和8年度 よつば学級 シラバス

目標

- よつば学級目標
1. 生きるための基本を学ぶ
 2. 今頑張る力を養う
 3. 感謝の心を育てる

特別支援学級の学習

	教科	学習内容（身につけたい力）
領域・教科をあわせた指導	日常生活の指導	日常生活が充実し、高まることを目標とし、反復しながら日常生活の諸活動に取り組む。 ○基本的生活習慣の確立（衣服の着脱、洗面手洗い、排泄、食事、清潔など） ○日常生活や社会生活において必要な内容（挨拶、言葉使い、礼儀作法、時間や決まりを守ることなど）
	生活単元学習	生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習する。
	作業学習	作業学習を学習の中心にしながら生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習する。○農耕 ○縫工
教科の指導	国語	・人の話を聞く・読んだ情報の中から自分に必要な情報を適切に選択する・ものを書くことにより生活する力を高めるための能力と態度を育てる。○聞く○話す○読む○書く
	数学	日常生活に必要な数量や図形に関する学習を深め、実際の生活場面で取り扱い生活に生かしていく能力を育てる。○数と計算○量と測定○図形と数量関係○実務（金銭・時計・暦）
	音楽	充実感や満足感を味わいながら自己表現力を豊かなものへと広げ深める。○リズムに合わせる・曲想にふさわしい表現などの身体表現をする。○自分の歌や演奏や楽器の鑑賞 交流学級での活動（合唱コンクール）学年合唱・自由曲
	美術	基礎的な表現力と鑑賞力を伸ばし、豊かな情操を培う。○造形活動（・表現・鑑賞・材料と用具）
	理科	・自然の仕組みや働きを理解する・事物や事象への理解を具体的な活動を踏まえて習得する。○人体のつくりや身近な動植物 ○電気・薬品・油脂類などの身近な事物 ○太陽や月などの天体や気象の変化に関することを理解する。
	技術・家庭	将来の社会参加を目指し、生活に必要な基礎的知識・技能及び態度を習得し、それらを日常生活や実習で生かすことで実践的な態度を育成する。技術 ○パソコン○木工 家庭 ○家庭に関する基本的な事項（裁縫、調理実習）
	保健体育	交流学級での活動（体育祭まで）台中体操・学年種目 支援学級での活動（通年）自己の運動技能、体力に応じた適切な運動の経験や健康、安全についての理解を通して健康の保持増進と体力の向上を図る。 ○身体動作、姿勢保持、リズム感、体力の向上○体づくり運動○きまりやルールの遵守
	社会	学校や地域などで充実した生活を送るための必要な技能を習得する。「ニュース」「地域の様子や社会の変化」「国内外の様子」の中から実態に応じた学習に取り組む。
	英語	・身近な生活の中で見聞きする英語の文字や表現に興味や関心を持つ・簡単な英語を使って自己の活動や感情を表現する。○アルファベット○文章表現○英会話
総合的な学習の時間		○国際理解（英語の授業との関連） ○行事における事前事後学習 ○興味関心に基づいた活動（観察・調理等） ○公共機関の利用におけるマナーの確立（交通機関・図書館等の活用） ○交流・共同学習（交流学級との協同活動）
自立活動		「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6区分の中から、個々の学習上または生活上の困難を改善・克服するために必要に応じて課題を選定し、生徒の人間としての調和のとれた育成を目指す。

*道徳は特設の時間を設けず、日常生活や生活単元学習の中で行う。

*評価は、毎学期に「取組の様子」を記述式にてお伝えする。